



# 第5章

## 地域別構想

---

5-1 中央地域

5-2 北部地域

5-3 東部地域

5-4 西部地域



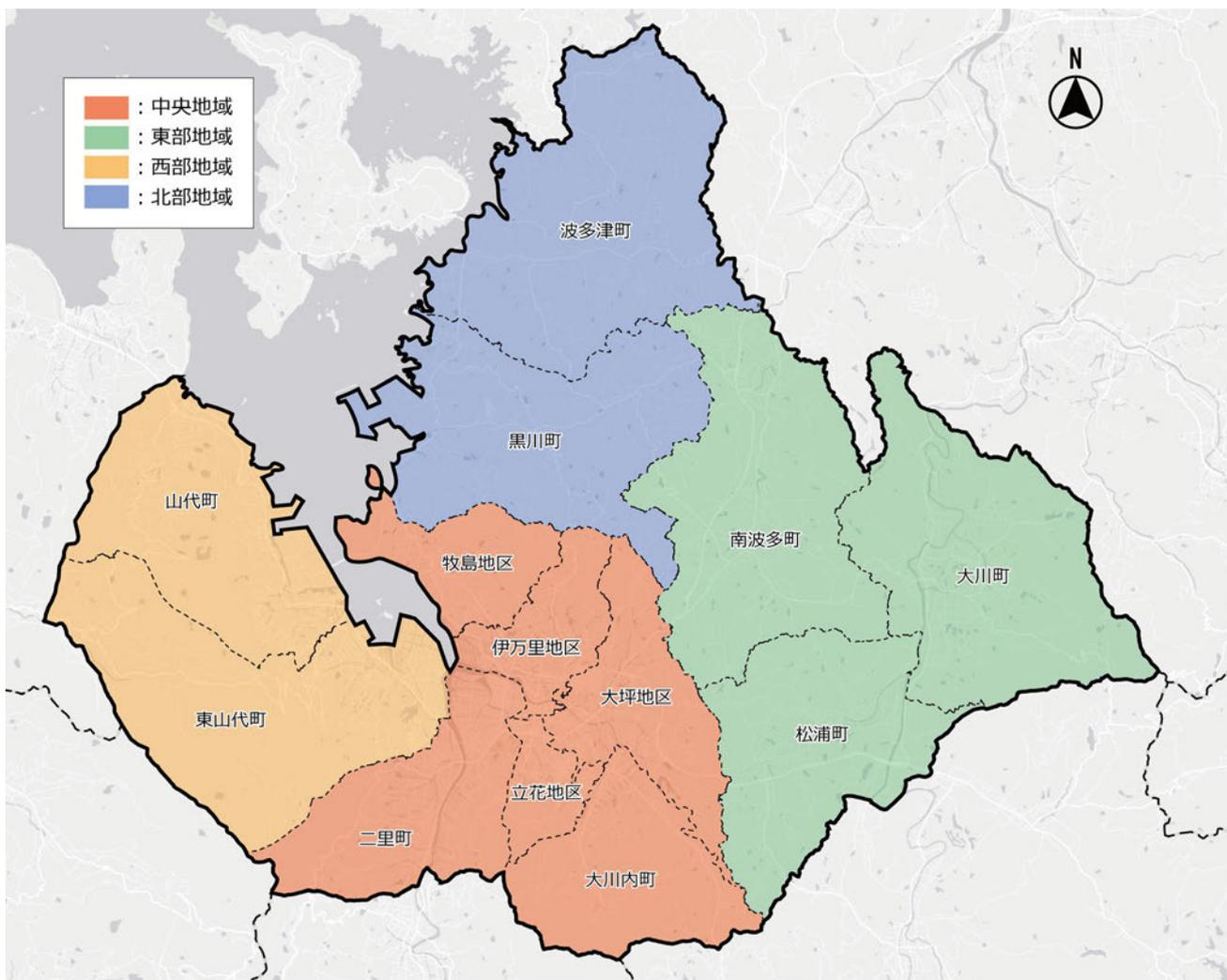
## 第5章

## 地域別構想

地域別構想は、市民にとって身近な地域レベルでのまちづくりの方針を示すことにより、まちづくりに対する理解や関心を醸成するとともに、身近な地域の課題や将来像を共有することにより市民や事業者との協働のまちづくりを推進することを目的とします。

本市では、市民の日常的な生活圏、歴史的な経緯、市民のコミュニティの繋がりなどを考慮して、下図に示す4つの地域（中央地域、北部地域、東部地域、西部地域）ごとにまちづくりの方針を定めます。

### ▼中央地域、北部地域、東部地域、西部地域の区分



## 5-1 中央地域

### (1) 地域の特徴

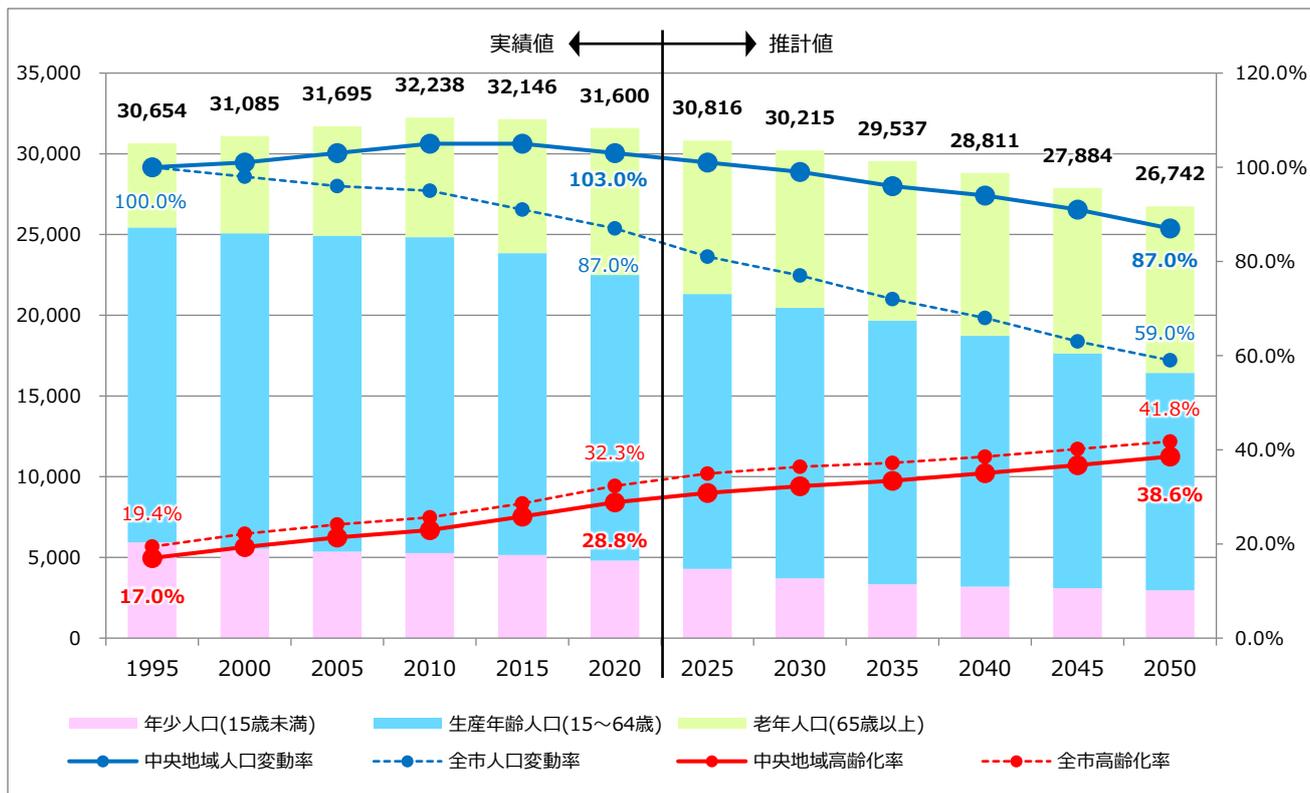
#### 1) 地域の概要

- 中央地域は、本市の中央に位置し、伊万里駅を中心とした市街地（用途地域）を有する地域です。
- 商業地が集積し白壁土蔵の建物が点在する伊万里地区、新興住宅地が点在する大坪地区、JR 筑肥線と松浦鉄道（MR）が乗り入れ本市の交通の拠点である立花地区、黒岳、青螺山、牧ノ山、腰岳等の山並みに囲まれ、特別な歴史と伝統技術を特徴とする鍋島焼のふるさとである大川内町、海・山が身近にあり伊万里湾の風景を楽しむことができる牧島地区、都市とふるさとの魅力を兼ね備えている二里町により構成する地域です。
- 古くから焼き物の積出港として栄えた歴史があり、官公庁や主要機関、交通機関等が集積する地域です。

#### 2) 人口動向

- 中央地域の人口は、2010（平成 22）年以降減少に転じており、全市平均よりも緩やかなペースではあるものの、今後も減少が続く見通しです。
- 高齢化は、全市とほぼ同じ水準で進んでおり、2050（令和 32）年には高齢化率が4割近くになる見通しです。

▼中央地域の人口推移および見通し

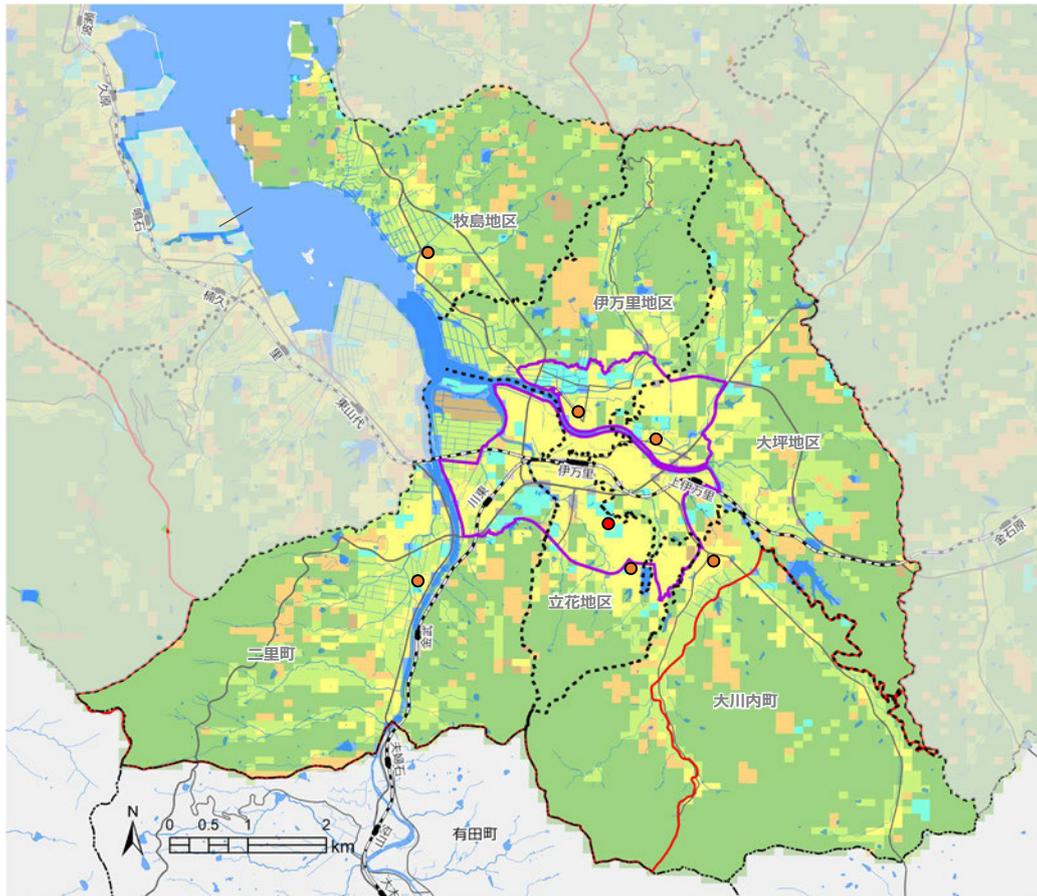


出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（令和5年推計：令和2年国勢調査を基に推計）

### 3) 土地利用・都市機能等

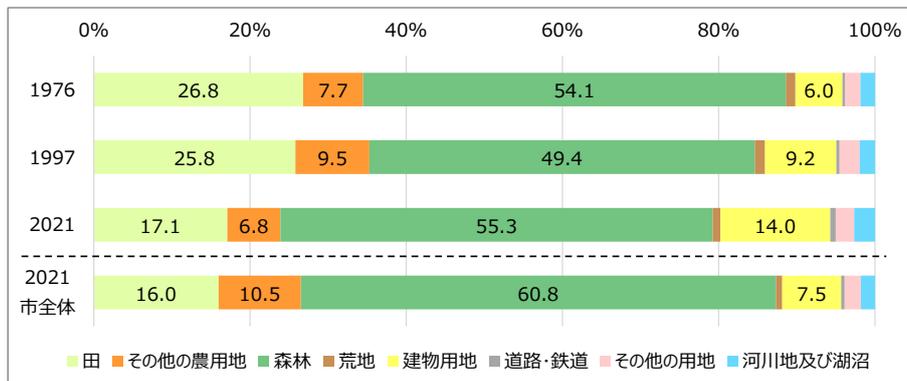
- 北側の城古岳、東側の今岳、南側の腰岳からのびた丘陵部からなり、中央を東西に流れている伊万里川流域に市街地が広がっています。
- 国道 202 号、204 号、498 号が集散する交通の要であり、行政・文化の中心地として発展してきました。
- 市街地北部（用途地域北側）に西九州自動車道のインターチェンジが計画されています。

▼中央地域の土地利用（2021 年）および主要施設



凡例			
田	道路用地	● 市役所	□ 都市計画区域
その他の農用地	鉄道用地	● コミュニティセンター	□ 用途地域
森林	その他の用地	● 鉄道駅	--- 行政界
荒地	河川および湖沼	— 鉄道	--- 地区界
建物用地			

▼中央地域の土地利用構成



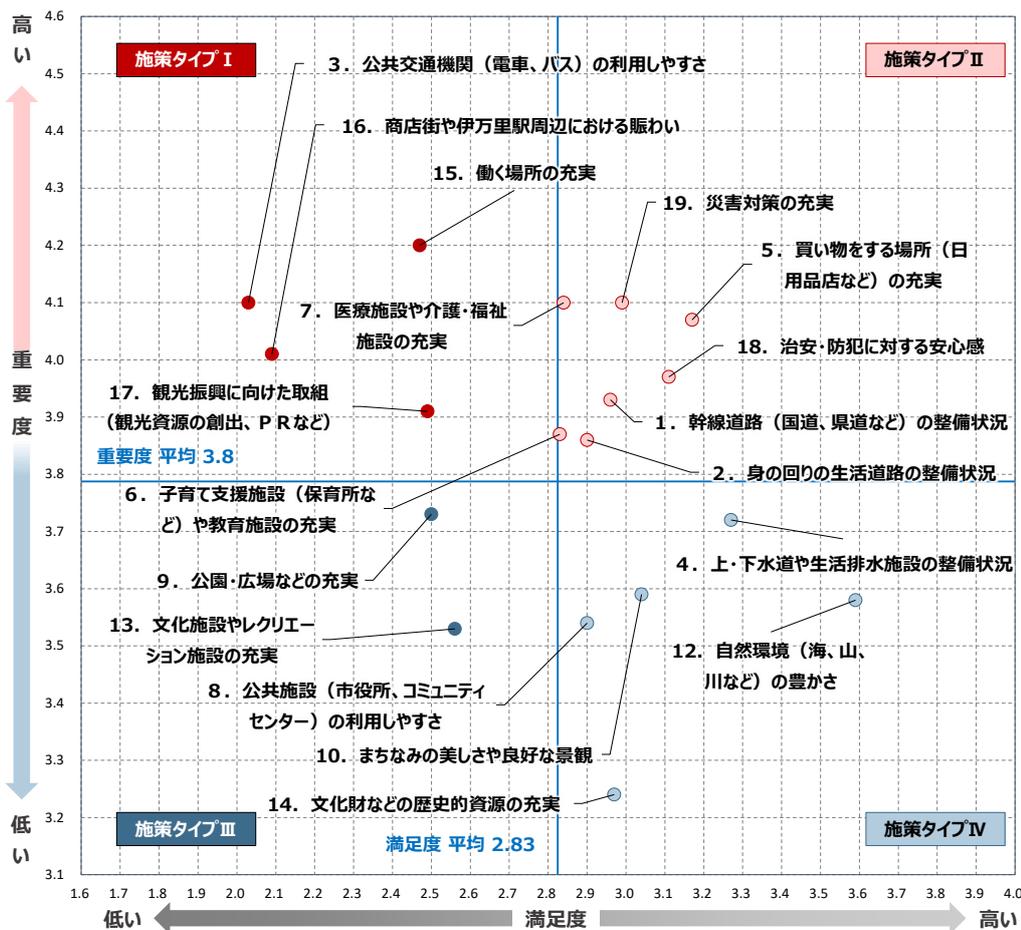
資料：国土数値情報

#### 4) 市民意向

- 中央地域においては、施策全体の重要度・満足度ともに、市平均※（重要度平均：3.76、満足度平均：2.75）よりも高い結果となっています。
- 施策の重要度・満足度ともに高い【施策タイプⅡ】には、「買い物をする場所の充実」、「治安・防犯に対する安心感」など7項目が該当しています。
- 施策の重要度が高いものの、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「公共交通機関の利用しやすさ」や「商店街や伊万里駅周辺における賑わい」など4項目が該当しています。

※ p.13 掲載の「本市のまちづくりに対する『重要度』と『満足度』」を参照。

▼本市のまちづくりに対する中央地域にお住まいの方々の評価（市民アンケートより）



5) 地域の魅力（まちづくりワークショップ意見抜粋）

- 商業施設、医療・福祉施設、公共施設、公園等が集積しており、日常生活に特に困らない
- いまりんバスが便利
- 海、山、川（伊万里川、有田川）の豊かな自然
- 希少生物（カブトガニ、タナゴなど）が生息する多々良海岸
- 豊かな農畜産物（穀類、果樹、野菜等）
- トンテントン等の伝統行事や地域イベントが盛ん
- 焼き物の里・大川内山のまちなみ
- 八坂神社、今岳神社、猿田彦神社等の歴史文化資源
- 伊万里市駅ビルのフリースペース

等

(2) 地域の課題

<b>土地利用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市街地中心部の賑わいを維持・増進するため、コンパクトで利便性の高い市街地の形成が求められます。</li> <li>■ 市街地中心部のスポンジ化を改善するため、空き家・空き地などの有効活用・適正管理を進める必要があります。</li> <li>■ 交通利便性や身近な自然環境を活かした定住を促進するため、過去の市街地整備や住宅団地整備による既存ストックを有効に活用しながら、計画的な住宅地の立地誘導を図る必要があります。</li> <li>■ 西九州自動車道の延伸・供用を享受する交流機能の維持・向上や広域的な交通・流通利便性を活かした土地利用の促進が求められます。</li> <li>■ 伊万里駅周辺において、市全体からの利用に供する高次な都市機能を集積し、拠点性の向上に向けた取組が必要です。</li> </ul>
<b>都市施設整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域的な交通・流通基盤として西九州自動車道の全線開通に向けた整備の促進が必要です。</li> <li>■ コンパクト・プラス・ネットワークによる効率の良い都市運営を実現するため、市全体から集散する公共交通の維持・利便性向上を図る必要があります。</li> <li>■ まちなか居住を促進し、自動車に過度に頼らない暮らしを実現するため、誰もが快適に利用できる公共交通の充実が必要です。</li> </ul>
<b>自然環境・景観形成・安全安心</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 古くから交通の要衝であったことや伝統産業の地域資源を活かした市街地景観の保全・育成を図る必要があります。</li> <li>■ 史跡「大川内鍋島窯跡」を有する大川内山地区の本市の歴史・文化を象徴する美しい良好な景観を保全・育成していく必要があります。</li> <li>■ 里山や河畔、田園環境などの市街地に身近な自然環境は、ふるさとの原風景として保全・活用を図る必要があります。</li> <li>■ 沿岸部や丘陵地における郊外部の田園景観や黒岳、青螺山、牧ノ山、腰岳等の山並みは、貴重な景観資源として保全・活用を図る必要があります。</li> <li>■ 伊万里川や有田川の洪水浸水想定や土砂災害危険箇所の指定を踏まえ、命を守る防災対策の充実を図る必要があります。</li> </ul>

(3) まちづくりの方針

1) 目指すべき地域の姿

本地域では、伊万里市の顔となる中心拠点において、各種都市機能の集積やまちなか居住の推進を図るとともに、伊万里中 IC（仮称）周辺における観光周遊起点の形成を進め、賑わいあふれるまちを目指します。

また、周囲を海・山に囲まれた豊かな自然環境や伊万里固有の歴史・伝統・文化、景観を活かしたまちづくりを進めることで、子どもから高齢者まで誰もが住み続けたいと感じられるまちを目指します。

2) 中央地域の整備方針

土地利用	「伊万里市の顔」となる中心拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■伊万里駅周辺では、土地の有効利用・高度利用を促進するとともに、商業、業務、医療・福祉、金融、子育て支援、文化・交流などの各種都市機能の集積により、「伊万里市の顔」となる中心拠点の形成を図ります。</li> <li>■駅通商店街や古伊万里通りなどでは、空き家、空き店舗、空き地の有効活用による賑わい創出、利便性向上を図るとともに、快適な歩行空間の整備など、居心地が良く歩きたくなるまちなかの整備に努めます。</li> <li>■住居、店舗が立ち並ぶ八谷搦、松島周辺では、快適な生活空間が確保できるようまちなかの整備に努めます。</li> </ul>
	中心拠点を補完する地域拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国道 202 号および 498 号沿道（二里大橋交差点周辺）においては、商業、業務などの面から中心拠点の機能を補完しつつ、暮らしの利便性を高める地域拠点の形成を図ります。</li> </ul>
	身近な生活拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大川内、牧島のコミュニティセンター周辺において、身近な商業、医療、文化・交流などの都市機能が集積し、公共交通によるアクセスが可能な生活拠点の形成を図ります。</li> </ul>
	伊万里中 IC（仮称）における周遊起点の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西九州自動車道伊万里中 IC（仮称）の周辺においては、商業、文化・交流、情報発信機能などの集積を促進し、本市を含めた西九州北部における観光周遊の起点としての活用を図ります。</li> <li>■伊万里中 IC（仮称）周辺での市街地整備と用途地域の指定について検討します。</li> </ul>
	スポーツ・レクリエーション拠点の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国見台公園については、本市のスポーツ振興・健康増進に寄与する拠点として利用環境の更なる向上を図るとともに、防災拠点としての機能強化に努めます。</li> </ul>

▼トントン祭り



▼伊万里駅



▼伊万里市民図書館



土地利用	観光・交流拠点の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大川内山地区については、本市の観光振興を牽引する拠点として伊万里・有田焼伝統産業会館をはじめとする施設の機能強化や観光客の受入体制の強化を図るとともに、窯業団体への支援に努めます。</li> </ul>
	生活利便性・安全性の高い市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■良好な都市基盤が形成されている場所や生活利便性・安全性の高い場所において緩やかに居住を誘導し、人口密度の維持に努めます。</li> <li>■低未利用地や空き家の有効活用により、良好な居住環境を形成するとともに、地域コミュニティの維持・活性化を図ります。</li> <li>■用途地域に隣接し、既に市街化が進んでいる地域については、開発動向等を考慮しながら用途地域への編入について検討します。</li> </ul>
	無秩序な開発の抑制による優良な農地の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>■用途地域外などにおける無秩序な開発を抑制することで、優良な農地の保全・活用を図ります。</li> </ul>
都市施設整備	西九州自動車道や幹線道路の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広域交通体系の軸となる西九州自動車道の整備促進に向けた取組を進めます。</li> <li>■伊万里中 IC（仮称）へのアクセスや工業団地への物流効率化を図るため、国道 204 号の整備促進に向けた取組を進めます。</li> <li>■国道 202 号の渋滞緩和や有田町との連携強化を図るため、一般県道伊万里有田線（セラミックロード）の整備促進に向けた取組を進めます。</li> <li>■主要地方道伊万里山内線の整備促進に向けた取組を進め、市街地へのアクセス性の向上や周辺地域との連携強化を図ります。</li> <li>■長期未着手都市計画道路である八谷搦駅前線西側の整備促進に向けた取組を進めます。</li> <li>■大川内山地区に接続する一般県道黒髪山公園線では、市内観光の主要ルートとして、地区の歴史・文化を踏まえた案内標識の充実、歩きやすい歩行空間の整備、駐車場の適正配置などの取組を検討します。</li> <li>■伊万里中 IC（仮称）周辺に接続し、商業施設等が沿道立地が進んでいる一般県道黒川松島線では、必要に応じて交通渋滞の抑制策や交通安全対策を検討します。</li> </ul>
	生活道路の安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■都市計画道路八谷搦駅前線西側の整備を推進し、交通安全対策を図ります。</li> </ul>
	公共交通ネットワークの維持・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本市の主要交通結節点である伊万里駅については、バス等との乗継の利便性強化を図るとともに、伊万里駅前公園や伊万里市駅ビル等の有効活用や駐車場の適正配置により、駅周辺の賑わい創出を目指します。</li> <li>■JR・MR の各鉄道駅は、周辺地域における役割を検証しながら、必要に応じて交通結節点としての機能充実を促進します。</li> <li>■路線バスは、市域外とも連結する公共交通手段の一つとして維持に努めます。</li> <li>■いまりんバス、二里町デマンドタクシーについては、地域のニーズを柔軟に捉えた持続的な運行を維持できるよう、利用促進に取り組みます。</li> </ul>
	公園の計画的な改修・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域内に点在する都市公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等の施設の改修や機能更新を図るとともに、適切な維持管理に努めます。</li> </ul>

自然環境・景観形成・安全安心	豊かな自然環境の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 黒髪山県立自然公園の貴重な自然環境の保全を図ります。</li> <li>■ 国の天然記念物に指定されているカブトガニの繁殖地である多々良海岸やホテルの生息する木須川などの豊かな自然環境の保全と自然体験の場としての活用を図ります。</li> <li>■ 伊万里川・新田川・有田川などの河川環境の保全整備を図るとともに、官民一体となったかわまちづくりの取組についても検討を行います。</li> </ul>
	地域固有の歴史・文化・景観を活かしたまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大川内山地区において、鍋島藩直営の窯場としての趣が感じられ、訪れたいまちなみを目指し、伊万里市景観計画に基づく景観の保全・形成を進めます。</li> <li>■ 駅通り商店街や古伊万里通りなどでは、伊万里焼の積出港として栄えた伊万里の歴史や文化を感じられる景観の保全・形成を図ります。</li> <li>■ つなぐ棚田遺産に認定された「炭山棚田」では、国や県の補助のもと営農環境の維持に向けた支援に努め、優れた棚田景観の保全・形成を図ります。</li> </ul>
	防災・減災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 有田川や伊万里川などでは、河川改修や浸水対策施設の維持・整備など、関係機関と連携した治水対策を推進します。</li> <li>■ 住宅団地などの大規模盛土造成地において、安全性把握のための調査結果に基づき、宅地の被害を軽減させるための取組を進めます。</li> </ul>

▼カブトガニ繁殖地



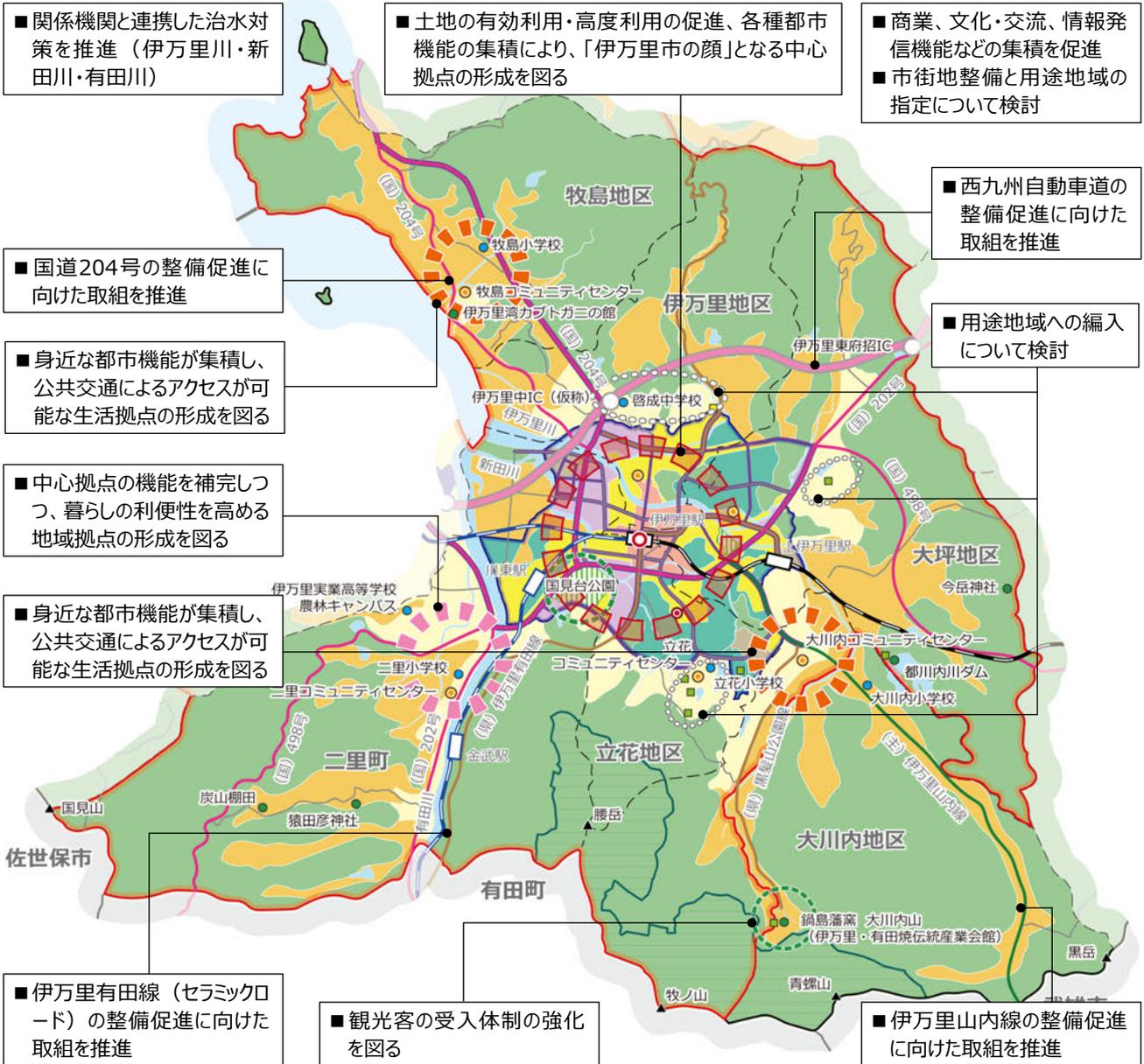
▼大川内山



▼炭山棚田

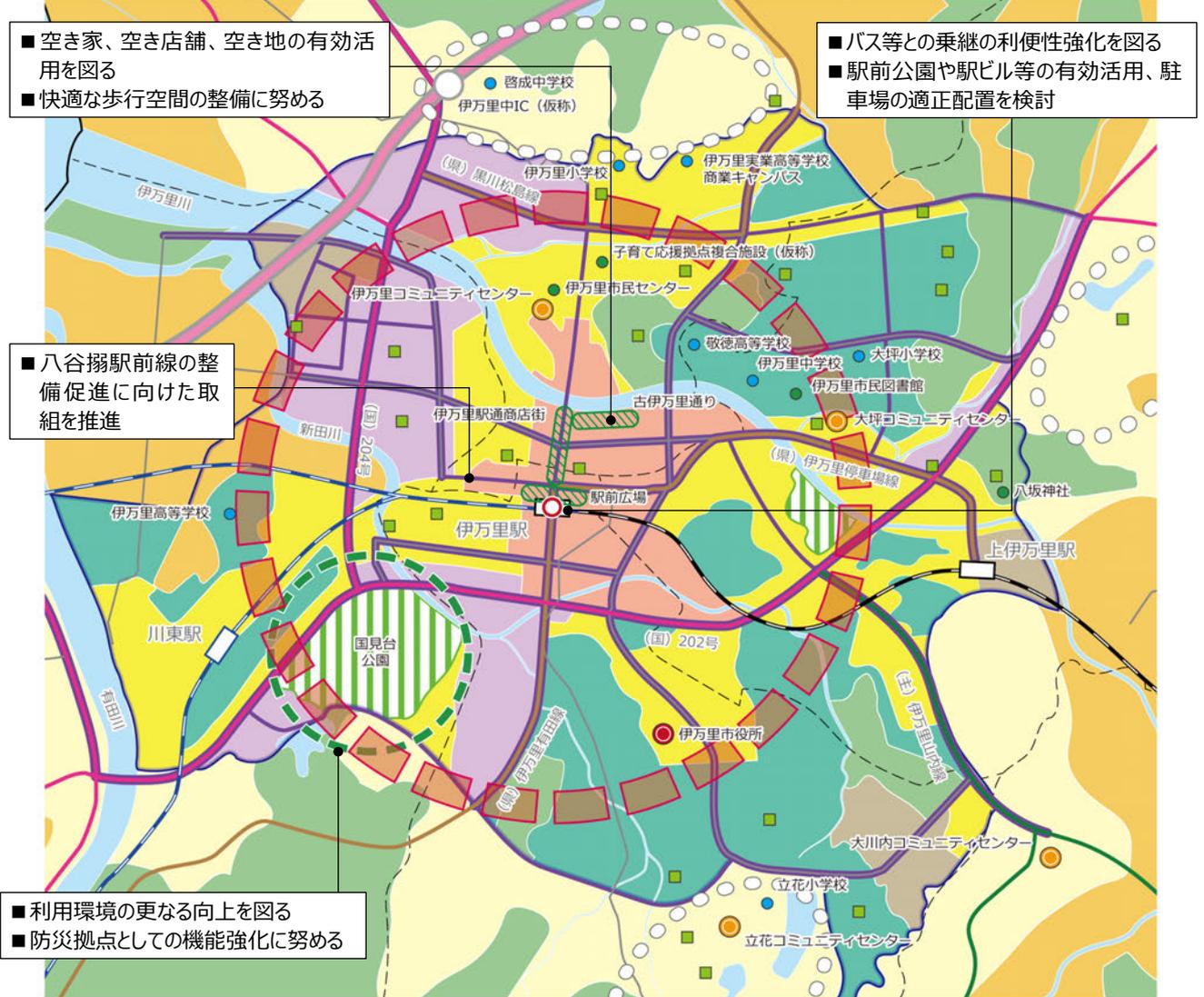


3) 中央地域の整備方針図 (全域)



土地利用の区分	賑わい中心エリア	まちなか住宅エリア	農住共存エリア
	地域商業エリア	専用住宅エリア	山林・丘陵地エリア
拠点	中心拠点	生活拠点	周遊・物流起点
	地域拠点	景観・観光・交流拠点	
凡例 その他	広域連携軸 (西九州自動車道)	河川・水辺	主要な山地
	都市間交通軸 (国道)	黒髪山県立自然公園	市役所
	都市間交通軸 (JR)	大規模な公園・緑地	コミュニティセンター
	都市間交通軸 (MR)	都市計画区域	学校 (小・中・高)
	地区間交通軸 (主要地方道)	用途地域	都市公園
	地区間交通軸 (一般県道)	行政界	地域資源等
	地域生活軸 (一級市道)	地区界	
	都市計画道路		

4) 中央地域の整備方針図(拡大)



■ 空き家、空き店舗、空き地の有効活用を図る  
■ 快適な歩行空間の整備に努める

■ バス等との乗継の利便性強化を図る  
■ 駅前公園や駅ビル等の有効活用、駐車場の適正配置を検討

■ 八谷搦駅前線の整備促進に向けた取組を推進

■ 利用環境の更なる向上を図る  
■ 防災拠点としての機能強化に努める

土地利用の区分	賑わい中心エリア	住工共存エリア	専用住宅エリア	山林・丘陵地エリア
	地域商業エリア	まちなか住宅エリア	農住共存エリア	土地利用検討エリア
拠点	中心拠点	景観・観光・交流拠点	周遊・物流起点	
凡例	広域連携軸 (西九州自動車道)	河川・水辺	市役所	
	都市間交通軸 (国道)	大規模な公園・緑地	コミュニティセンター	
	都市間交通軸 (JR)	用途地域	学校 (小・中・高)	
	都市間交通軸 (MR)	行政界	都市公園	
	地区間交通軸 (主要地方道)	地区界	地域資源等	
	地区間交通軸 (一般県道)			
	地域生活軸 (一級市道)			
	都市計画道路			

## 5-2 北部地域

### (1) 地域の特徴

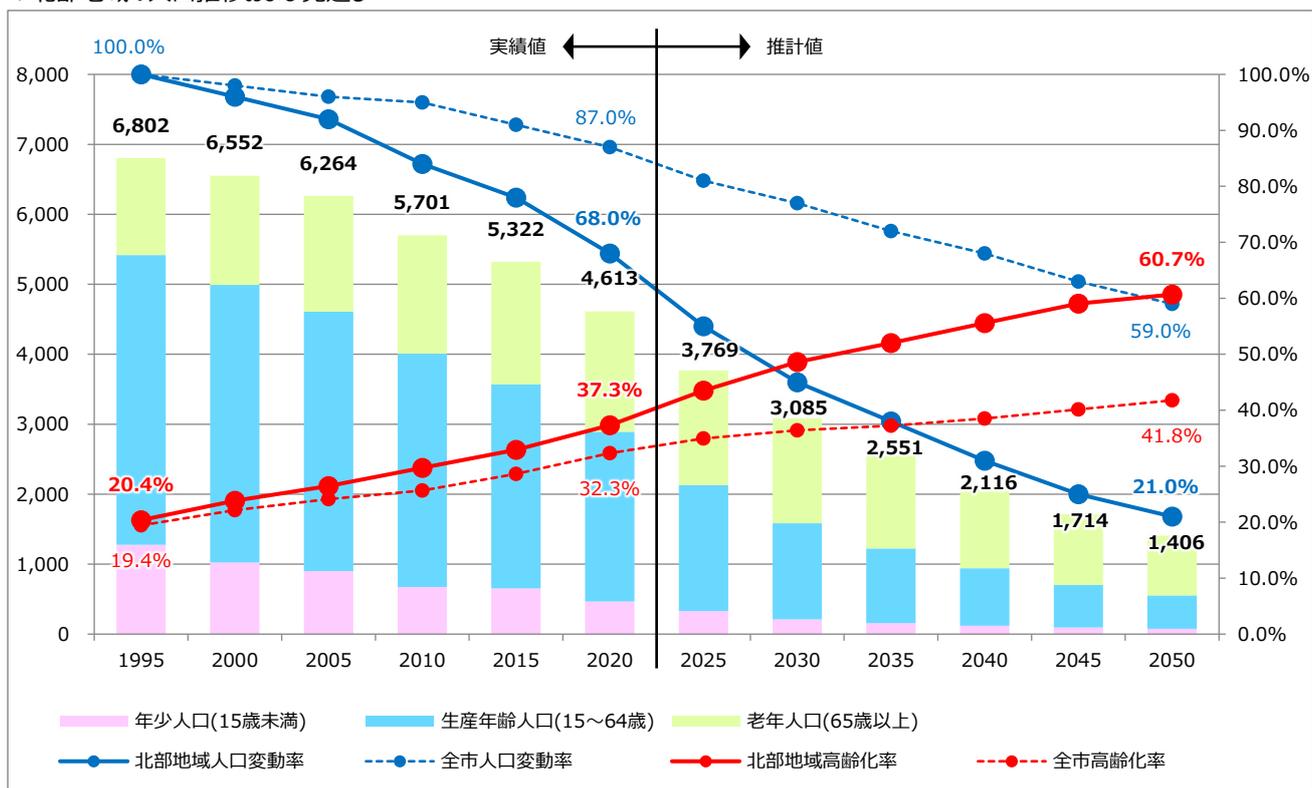
#### 1) 地域の概要

- 北部地域は、玄海国定公園大平山と波静かな海に囲まれた自然豊かな地域です。
- 伊万里湾が隣接した国道 204 号沿道と県道塩屋大曲線沿いに集落が形成された黒川町、深く入り込んだ入江と無数の小島が美しい波多津町により構成する地域です。
- 造船業等が立地する七ツ島工業団地を有する県内でも有数の工業地域でもあります。
- 都市計画公園「伊万里ファミリーパーク」や人工の海水浴場「イマリンビーチ」が立地しており、海と山に囲まれた風光明媚な自然豊かなレクリエーション拠点として、市内外から多くの観光客で賑わっています。
- 市内唯一の漁港があり、タイやハマチ、車エビ、カキ等の養殖が行われている一方で農業も盛んで、穀物をはじめとして、畜産、園芸、果樹などさまざまな農産物が作られています。

#### 2) 人口動向

- 北部地域の人口は 4 地域の中で最も少なく、今後も全市の減り方に比べて大きく減少する見通しとなっています。
- 高齢化率は、全市の水準より高い傾向にあり、2050（令和 32）年には高齢化率が 6 割を超える見通しです。

▼北部地域の人口推移および見通し

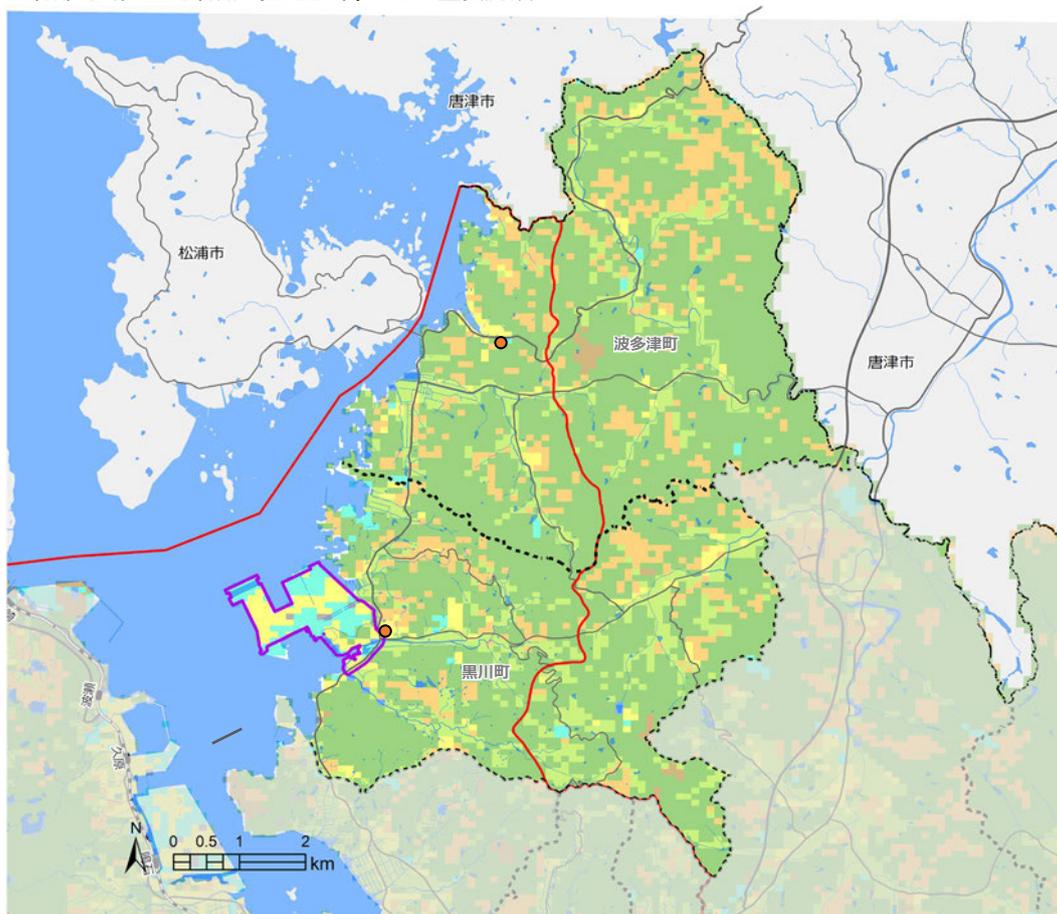


出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（令和 5 年推計：令和 2 年国勢調査を基に推計）

### 3) 土地利用・都市機能等

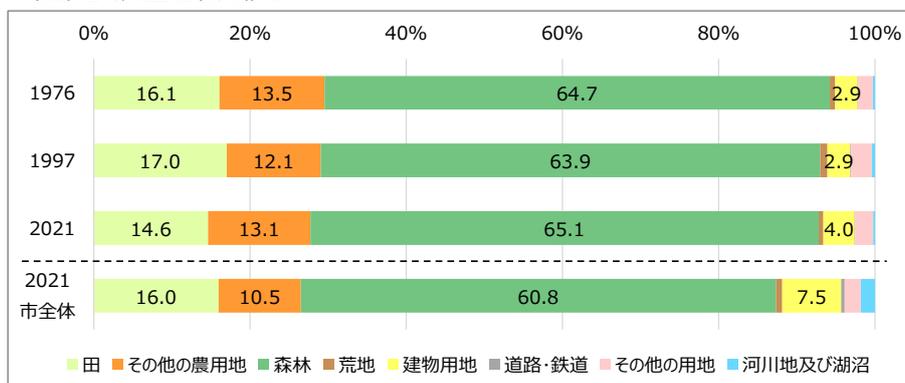
- 標高 331m の大平山、眺望が美しい高尾山やアグリ山などの山林が占める中、縦貫する国道 204 号や県道塩屋大曲線沿道に集落が点在しています。
- 地域西部には都市計画区域が指定されており、七ツ島工業団地を中心に用途地域が指定されています。

▼北部地域の土地利用（2021 年）および主要施設



凡例			
田	道路用地	● 市役所	■ 都市計画区域
その他の農用地	鉄道用地	● コミュニティセンター	■ 用途地域
森林	その他の用地	● 鉄道駅	--- 行政界
荒地	河川および湖沼	— 鉄道	--- 地区界
建物用地			

▼北部地域の土地利用構成



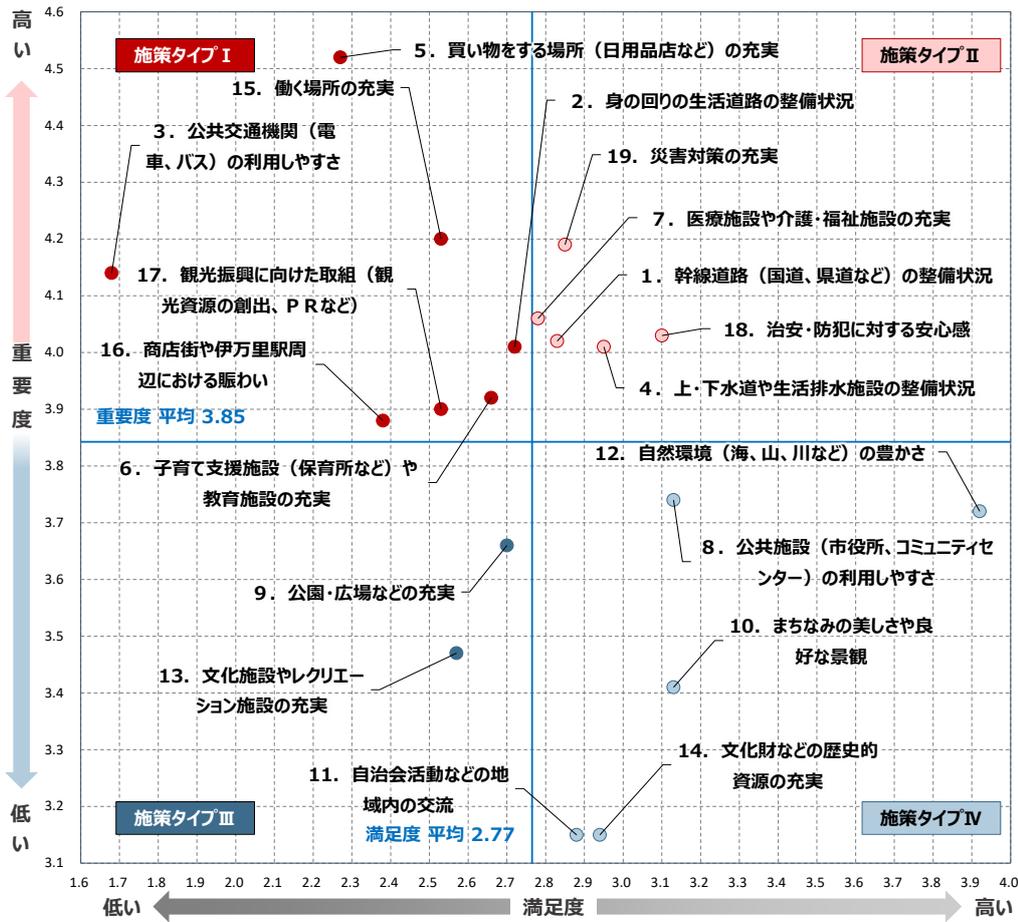
出典：国土数値情報

#### 4) 市民意向

- 北部地域においては、施策全体の重要度・満足度ともに、市平均※（重要度平均：3.76、満足度平均：2.75）よりも高い結果となっています。
- 施策の重要度・満足度ともに高い【施策タイプⅡ】には、「治安・防犯に対する安心感」、「上・下水道や生活排水施設の整備状況」など5項目が該当しています。
- 施策の重要度が高いものの、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「公共交通機関の利用しやすさ」や「買い物をする場所の充実」など6項目が該当しています。

※ p.13 掲載の「本市のまちづくりに対する『重要度』と『満足度』」を参照。

▼本市のまちづくりに対する北部地域にお住まいの方々の評価（市民アンケートより）



■ 施策タイプについて

タイプ	重要度	満足度
施策タイプⅠ 優先した改善を要する施策	高	低
施策タイプⅡ 現状の水準を維持する施策	高	高
施策タイプⅢ 現状維持またはあり方について検討を要する施策	低	低
施策タイプⅣ 改善の緊急性が低い施策	低	高

5) 地域の魅力（まちづくりワークショップ意見抜粋）

- 伊万里湾と大平山や高尾山、アグリ山などの良好な自然環境
  - 子どもから大人まで楽しめるイマリビーチや伊万里ファミリーパーク（いまり夢みさき公園）
  - 造船業等が盛んな七ツ島工業団地
  - 波多津漁港と波多津ふれあい広場
  - 豊かな農林水産物（穀類、果樹、肥育牛、魚介類の養殖、波浦の塩等）
  - 田嶋神社（国指定重要文化財）
  - 鯛の曳山、盆踊り口説、もぐら打ち、亥の子石づき等の伝統文化
  - 家読（うちどく）推進の取組
- 等

(2) 地域の課題

<b>土地利用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 買い物や医療、子育てなど日常生活を支援する地域拠点の生活利便性の向上が求められます。</li> <li>■ 隣接する唐津市や福島への玄関口として観光資源や地域産業を活かした交流の促進が求められます。</li> <li>■ 国道沿道に集落地が広く点在していることから、生活道路の改善やコミュニティ施設の活用など集落地の住環境維持が求められます。</li> <li>■ 七ツ島工業団地を中心とする産業団地の育成を図る必要があります。</li> <li>■ 地区東部の都市計画区域外においては、公園・緑地の配置や適正な下水処理など多様な手法を用いた住環境の整備を行う必要があります。</li> </ul>
<b>都市施設整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市の中心部や中央地域の都市機能への交通利便性を高めるため、公共交通を維持・強化する必要があります。</li> <li>■ 身近な市民の憩いの場所として、快適かつ安全に利用できる公園・緑地の配置ならびに適正な管理・活用を行う必要があります。</li> </ul>
<b>自然環境・景観形成・安全安心</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大平山や高尾山、アグリ山などの身近な自然環境は、散策ルートや眺望を活かして保全と活用が求められます。</li> <li>■ 河川沿いや丘陵地の農地は、身近な田園風景として保全と活用が求められます。</li> <li>■ 伊万里湾沿岸の海岸景観は、複雑な地形がおりなす本市固有の財産であり、レクリエーションの場としても地域資源を活用した景観形成が求められます。</li> <li>■ 立川・拝川など河川災害に注意する必要があります。</li> <li>■ 伊万里湾沿岸の高潮や津波の被害想定を踏まえ、防災対策の充実を図る必要があります。</li> <li>■ 山麓の集落地周辺に土砂災害特別警戒区域が多く、集落地周辺での土砂災害防止対策が求められています。</li> </ul>

(3) まちづくりの方針

1) 目指すべき地域の姿

本地域では、豊かな海と山の自然環境を保全・活用しつつ、生活拠点における身近な都市機能の集積を図り、暮らしやすさを感じられるまちを目指します。

また、伊万里ファミリーパークやイマリンビーチ、波多津ふれあい広場などを活かした交流の促進による、魅力あふれるまちを目指します。

2) 北部地域の整備方針

土地利用	身近な生活拠点の形成	■波多津、黒川のコミュニティセンター周辺において、身近な商業、医療、文化・交流などの都市機能が集積し、公共交通によるアクセスが可能な生活拠点の形成を図ります。
	活力あふれる産業拠点の形成	■七ツ島工業団地では、北部九州における国際物流拠点として、生産性の向上と地域経済の活性化に資する産業立地の集積を促進します。
	観光・交流拠点の機能強化	■伊万里ファミリーパークやイマリンビーチについては、本市の主要な観光・交流拠点として適切な維持管理を図るとともに、県との共同により施設の魅力や利用環境の向上に向けた取組について検討します。
	優良な農地の保全と集落地の維持・活性化	■優良な農地の保全・活用に努めつつ、人口減少が進行する既存の集落地については地域コミュニティの維持・活性化を図ります。
都市施設整備	幹線道路の整備促進	■伊万里中 IC（仮称）へのアクセスや工業団地への物流効率化を図るため、国道 204 号の整備促進に向けた取組を進めます。
	生活道路の安全対策の推進	■国道 204 号などの整備を推進し、交通安全対策を図ります。
	公共交通ネットワークの維持・充実	■路線バスは、市域外とも連結する公共交通手段の一つとして維持に努めます。 ■町内循環バスくろがわ号、波多津ふれあい号については、地域のニーズを柔軟に捉えた持続的な運行を維持できるよう、利用促進に取り組みます。 ■黒川バス停、波多津バス停における交通結節機能の強化について検討します。
	公園の計画的な改修・維持管理	■地域内に点在する都市公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等の施設の改修や機能更新を図るとともに、適切な維持管理に努めます。

自然環境・景観形成・安全安心	豊かな自然環境の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 玄海国定公園の貴重な自然環境の保全を図るとともに、大平山公園、高尾山公園からの眺望景観の保全・形成に努めます。</li> <li>■ 立川などの河川環境の保全整備を図るとともに、親水空間の形成に努めます。</li> </ul>
	地域資源を活かしたまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 波多津漁港に隣接した波多津ふれあい広場を活用した観光交流の促進を図ります。</li> <li>■ あぐり山公園（キャンプ場）では、玄海国定公園を望む豊かな自然景観を活かした観光交流の促進を図ります。</li> </ul>
	防災・減災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 立川、黒塩川などでは、河川改修や浸水対策施設の維持・整備など、関係機関と連携した治水対策を推進します。</li> </ul>
	港湾機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 七ツ島コンテナターミナルについては、国際物流の拠点としてコンテナ保管能力の向上や荷役の効率化に向けた基盤整備を促進します。</li> </ul>

▼七ツ島工業団地



▼高尾山からの眺望



3) 北部地域の整備方針図



凡例	土地利用の区分		拠点	その他			
	郊外住宅エリア	農住共存エリア		山林・丘陵地エリア	工業団地エリア	生活拠点	産業拠点
	■ 広域連携軸 (西九州自動車道)	■ 都市計画道路	■ 都市計画区域	■ 主要な山地	○ 周遊・物流起点		
	■ 都市間交通軸 (国道)	■ 河川・水辺	■ 行政界	● コミュニティセンター			
	■ 地区間交通軸 (主要地方道)	■ 玄海国定公園	■ 地区界	● 学校 (小・中・高)			
	■ 地区間交通軸 (一般県道)	■ 大規模な公園・緑地		■ 都市公園			
	■ 地域生活軸 (一級市道)			● 地域資源等			

## 5-3 東部地域

### (1) 地域の特徴

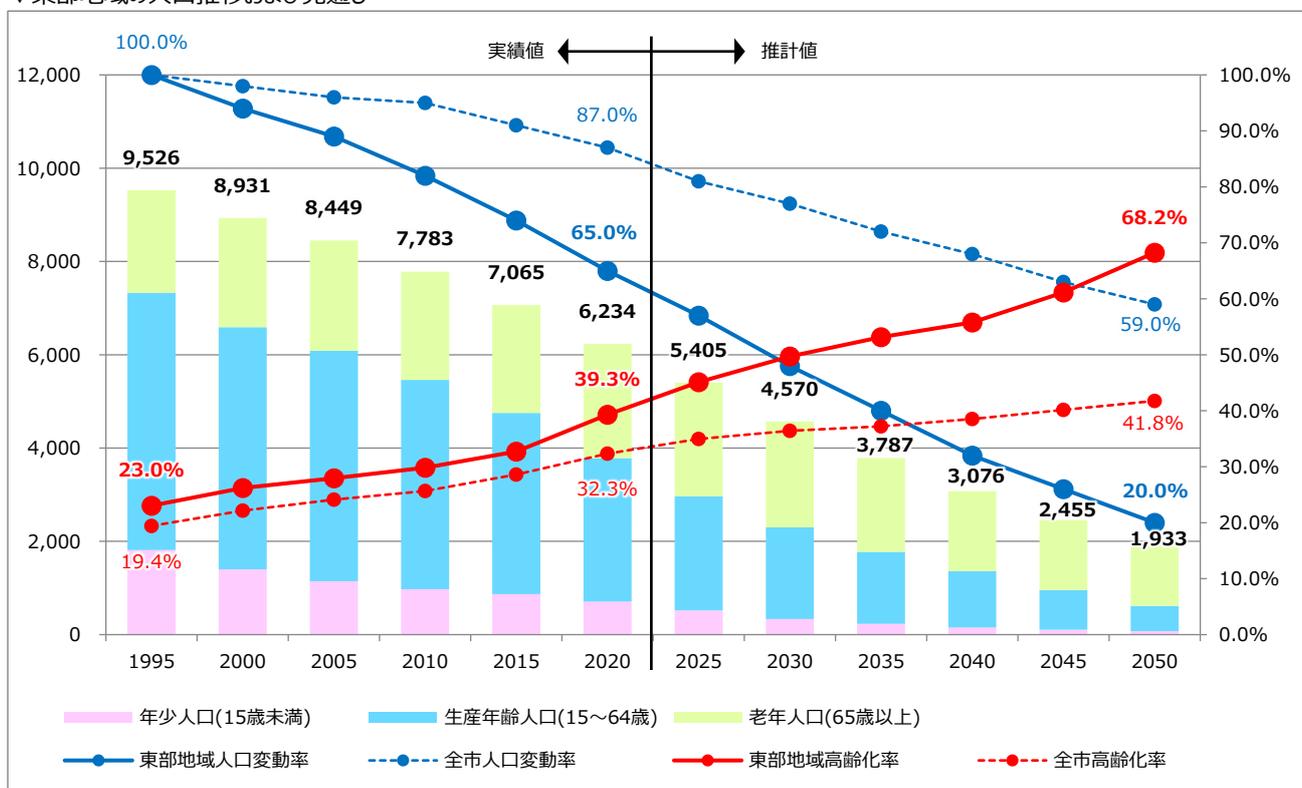
#### 1) 地域の概要

- 東部地域は、トレッキングや森林浴など自然に触れることができる大野岳をはじめとする山林、原野に囲まれ、中央には松浦川（一級河川）が流れる、自然環境に恵まれた地域です。
- 西日本屈指の果樹（梨、ぶどう）や肥育牛の生産が盛んな南波多町、八幡岳や田代岳に囲まれ自然豊かな大川町、春や秋には盆地特有の濃霧が発生し神秘的な光景を醸し出す松浦町により構成する地域です。
- JR 筑肥線や西九州自動車道、松浦バイパス（国道 498 号）などにより、本市の東の玄関口となっている地域です。

#### 2) 人口動向

- 東部地域の人口は減少を続けており、今後も全市の減り方に比べて大きく減少する見通しとなっています。
- 高齢化は、4 地域の中で最も高く、2050（令和 32）年には高齢化率が 7 割近くになる見通しです。

▼東部地域の人口推移および見通し

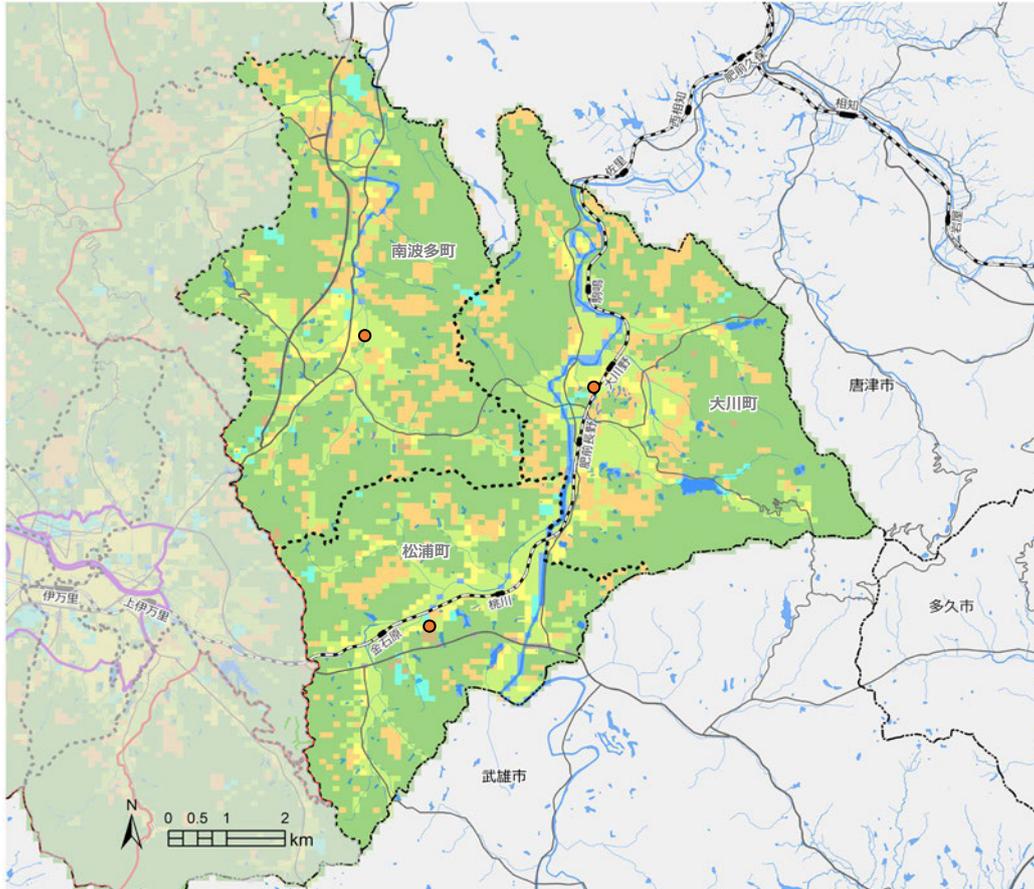


出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（令和 5 年推計：令和 2 年国勢調査を基に推計）

### 3) 土地利用・都市機能等

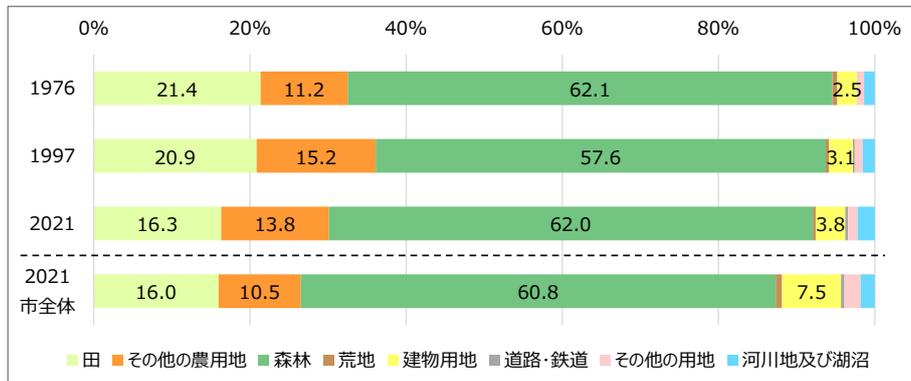
- 本地域は、全域が都市計画区域外となっており、主に国道 202 号沿道や JR 筑肥線の駅周辺に集落が形成されています。
- 伊万里東府招 IC が供用された西九州自動車道のほか、唐津方面を結ぶ国道 202 号、武雄方面を結ぶ松浦バイパス（国道 498 号）、県道三間坂相知線と伊万里畑川内蔵木線などが主な道路網です。

▼東部地域の土地利用（2021 年）および主要施設



凡例			
田	道路用地	市役所	都市計画区域
その他の農用地	鉄道用地	コミュニティセンター	用途地域
森林	その他の用地	鉄道駅	行政界
荒地	河川および湖沼	鉄道	地区界
建物用地			

▼東部地域の土地利用構成



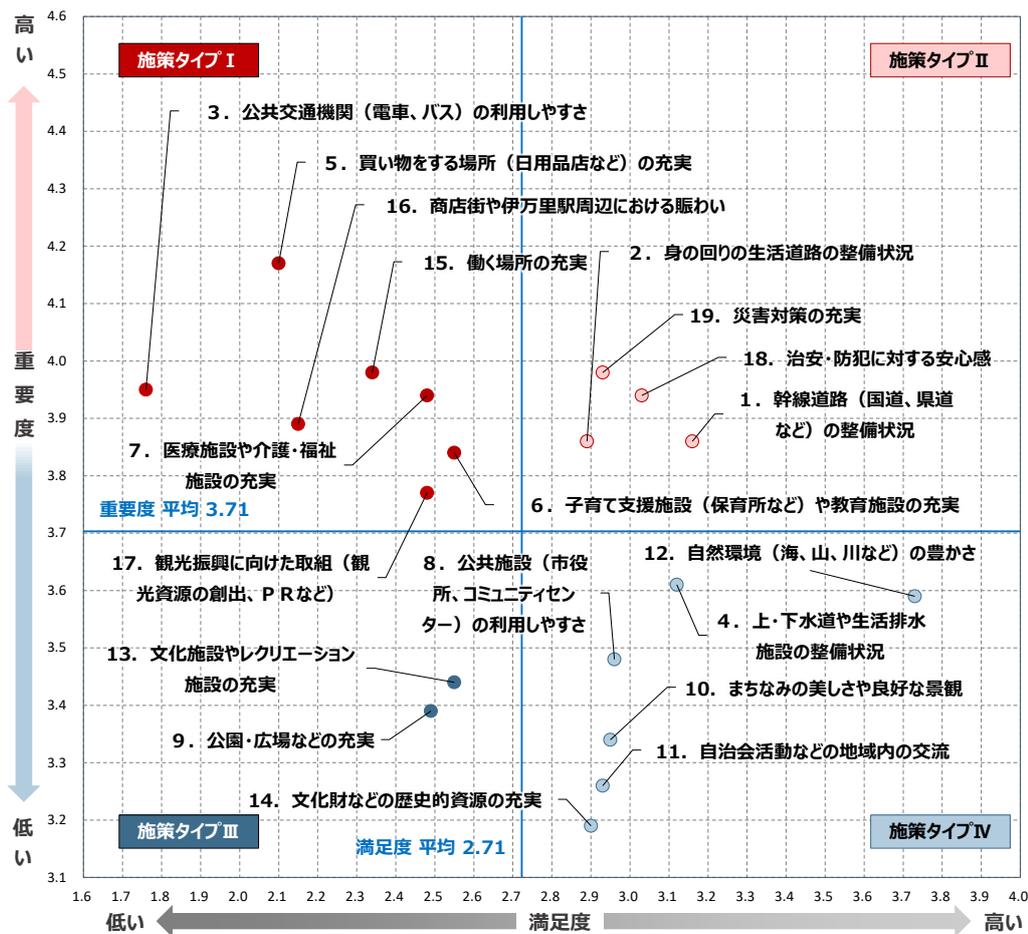
出典：国土数値情報

#### 4) 市民意向

- 東部地域においては、施策全体の重要度・満足度ともに、市平均※（重要度平均：3.76、満足度平均：2.75）よりも低い結果となっています。
- 施策の重要度・満足度ともに高い【施策タイプII】には、「幹線道路の整備状況」、「治安・防犯に対する安心感」など4項目が該当しています。
- 施策の重要度が高いものの、満足度が低い【施策タイプI】には、「公共交通機関の利用しやすさ」や「買い物をする場所の充実」など7項目が該当しています。

※ p.13 掲載の「本市のまちづくりに対する『重要度』と『満足度』」を参照。

▼本市のまちづくりに対する東部地域にお住まいの方々の評価（市民アンケートより）



5) 地域の魅力（まちづくりワークショップ意見抜粋）

- 大野岳、八幡岳、眉山、松浦川等の自然環境が織りなす雄大な風景
- 豊かな農畜産物（果樹、野菜、肥育牛、観光農園等）
- 観光交流の拠点となっている道の駅 伊万里
- 公園や健康増進施設等が多く立地
- ノスタルジックな雰囲気の JR 筑肥線
- 地域交流行事等が盛ん（運動会、夏祭り等）
- タイワンツバメシジミ繁殖地（市指定天然記念物）
- 土木遺産に認定された馬ノ頭水利施設
- 義務教育学校（南波多郷学館、東陵学園）
- さが西部クリーンセンター

等

(2) 地域の課題

<b>土地利用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 買い物や医療、子育てなど日常生活を支援する地域拠点の生活利便性の向上が求められています。</li> <li>■ 西九州自動車道や JR 筑肥線の恵まれた広域交通体系を活かし、地域産業の育成・活性化と新たな雇用の場の創出が必要です。</li> <li>■ 隣接する唐津市や武雄市への玄関口として観光資源や地域産業を活かした交流の促進が求められます。</li> <li>■ 豊かな歴史遺産や道の駅など地域資源の活用が求められています。</li> <li>■ 国道道沿道に集落地が広く点在していることから、生活道路の改善やコミュニティ施設の活用など集落地の住環境維持が求められます。</li> <li>■ 全域が都市計画区域外であることから、公園・緑地の配置や適正な下水処理など多様な手法を用いた住環境整備を行う必要があります。</li> </ul>
<b>都市施設整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市の中心部や中央地域の都市機能への交通利便性を高めるため、公共交通を維持・強化する必要があります。</li> <li>■ 九州西岸部へ向けた広域的な流通基盤となる西九州自動車道の全線開通に向けた整備の促進が必要です。</li> </ul>
<b>自然環境・景観形成・安全安心</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域内に歴史資源や観光施設等が点在し、やきものとフルーツの文化を活かした景観の充実や、周辺の里山と調和した景観の保全が求められます。</li> <li>■ 河川沿いや丘陵地の農地は、身近な田園風景として保全と活用が求められます。</li> <li>■ 八幡岳や田代岳などの山岳地形や谷間に生活の場があつまる盆地景観は、地域固有の自然環境・景観として保全と活用が求められます。</li> <li>■ 松浦川や徳須恵川の洪水浸水想定や土砂災害危険箇所の指定を踏まえ、命を守る防災対策の充実を図る必要があります。</li> </ul>

(3) まちづくりの方針

1) 目指すべき地域の姿

本地域では、雄大な自然環境を保全しつつ、生活拠点における身近な都市機能の集積、産業拠点や観光・交流拠点の強化を図ることで、誰もが安心して働き、暮らし、遊ぶことができるまちを目指します。

また、農産物や果樹、肥育牛などの生産が盛んな地域特性や点在する歴史・文化資源を活かした交流の促進による、活力のあるまちを目指します。

2) 東部地域の整備方針

土地利用	身近な生活拠点の形成	■南波多、大川、松浦のコミュニティセンター周辺において、身近な商業、医療、文化・交流などの都市機能が集積し、公共交通によるアクセスが可能な生活拠点の形成を図ります。
	活力あふれる産業拠点の形成	■今後の活用が見込まれる伊万里東部工業団地では、生産性の向上と地域経済の活性化に資する産業立地の集積を促進します。
	スポーツ・レクリエーション拠点の機能強化	■松浦コミュニティセンターに併設された伊万里松浦球場、伊万里松浦グラウンドゴルフ場、松浦健康増進施設については、地域住民のスポーツ振興・健康増進に寄与する拠点として適切に維持し、必要に応じて利用環境の更なる向上を図ります。
	観光・交流拠点の形成	■道の駅 伊万里は、観光・交流の拠点施設として、関係機関と連携しながら施設機能の充実を図ります。
	優良な農地の保全と集落地の維持・活性化	■優良な農地の保全・活用に努めつつ、人口減少が進行する既存の集落地については地域コミュニティの維持・活性化を図ります。
都市施設整備	幹線道路の整備促進	■主要地方道伊万里畑川内巖木線、主要地方道武雄伊万里線の整備促進に向けた取組を進め、交通の円滑化や周辺地域との連携強化を図ります。
	生活道路の安全対策の推進	■国道 202 号や市道提川・川西線などの整備を推進し、交通安全対策を図ります。
	公共交通ネットワークの維持・充実	■JR の各鉄道駅は、周辺地域における役割を検証しながら、必要に応じて交通結節点としての機能充実を促進します。 ■路線バスは、市域外とも連結する公共交通手段の一つとして維持に努めます。 ■コミュニティすこやかバス、松浦町デマンドタクシー、武雄市コミュニティバス武雄桃川線については、地域のニーズを柔軟に捉えた持続的な運行を維持できるよう、利用促進に取り組みます。

自然環境・景観形成・安全安心	豊かな自然環境の 保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 八幡岳県立自然公園の貴重な自然環境の保全を図ります。</li> <li>■ タイワンツバメシジミの繁殖地となっている大野岳自然公園の豊かな自然環境の保全と自然体験の場としての活用を図ります。</li> <li>■ 桃川親水公園は、自然環境を活かした地域住民の憩いの場としての活用を図ります。</li> <li>■ 松浦川・徳須恵川などの河川環境の保全整備を図るとともに、親水空間の形成に努めます。</li> </ul>
	地域資源を活かした まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農産物や果樹（梨、ぶどうなど）、肥育牛の生産が盛んな特性を活かした地域活性化を推進します。</li> <li>■ 井手口川ダム周辺においては、ダムの魅力を活かし、自然を楽しむことができる潤いのある空間形成を図ります。</li> <li>■ 映画のロケ地となった駒鳴駅における良好な景観の保全・活用を図ります。</li> </ul>
	防災・減災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 松浦川や徳須恵川などでは、河川改修や浸水対策施設の維持・整備など、関係機関と連携した治水対策を推進します。</li> </ul>

▼道の駅 伊万里



▼大川梨発祥の碑



▼松浦コミュニティセンター



3) 東部地域の整備方針図



土地利用の区分	郊外住宅エリア	山林・丘陵地エリア	拠点	生活拠点	産業拠点
	農住共存エリア	工業団地エリア		景観・観光・交流拠点	周遊・物流起点
凡例	広域連携軸 (西九州自動車道)	地区間交通軸 (主要地方道)	河川・水辺	八幡岳県立自然公園	主要な山地
	都市間交通軸 (JR)	地区間交通軸 (一般県道)	都市計画区域	コミュニティセンター	学校 (小・中・高)
	都市間交通軸 (国道)	地域生活軸 (一級市道)	行政界	地域資源等	
			地区界		

## 5-4 西部地域

### (1) 地域の特性

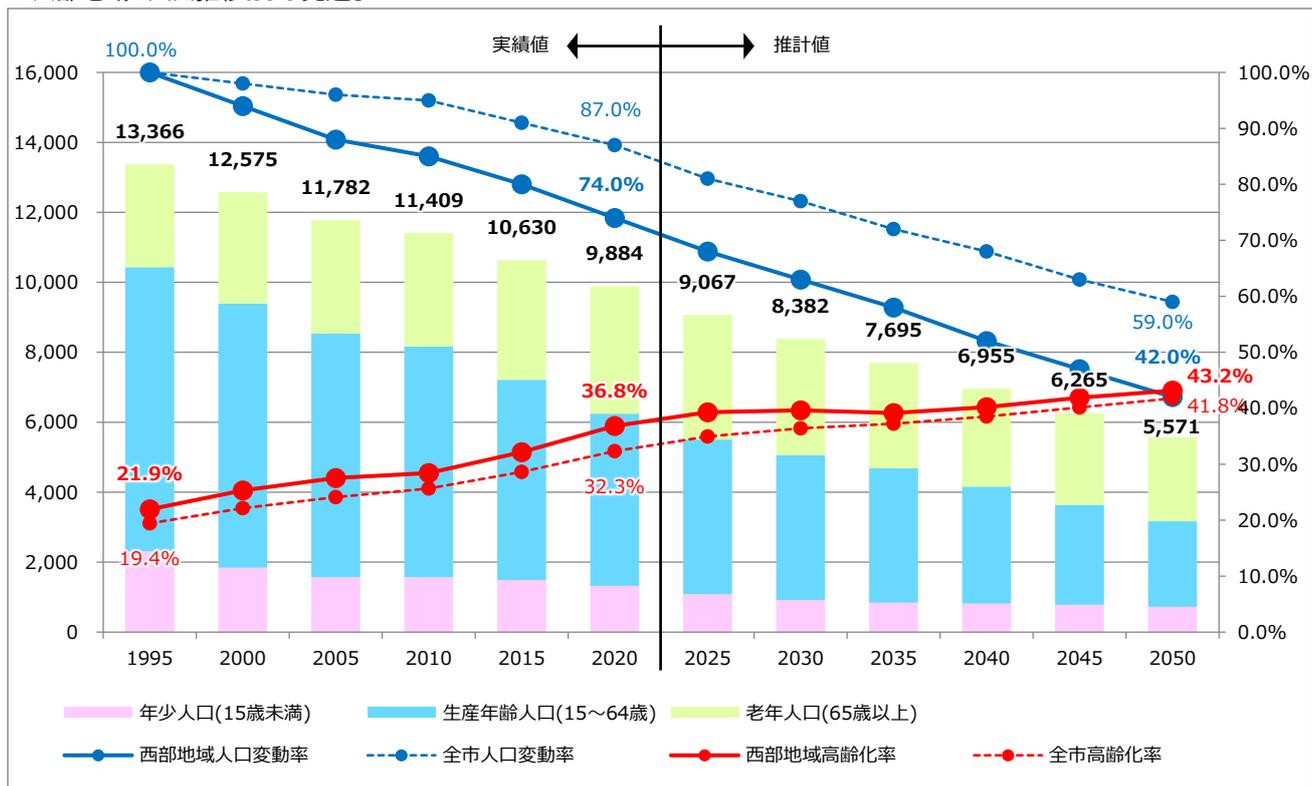
#### 1) 地域の概要

- 西部地域は、国見連山から伊万里湾にのびた丘陵地に田畑や集落が広がる自然の美しい地域です。
- 石炭の町として栄えた歴史を持ち、現在では IC デバイス関連の先端工場が操業を続ける東山代町、県境である長崎県松浦市に隣接し本市の西の玄関口である山代町により構成する地域です。
- 長崎県松浦市を結ぶ西九州自動車道山代 IC が開通し、利便性が高まっています。
- 国見連山の一角にある玄海国定公園「竹の古場」公園は、ツツジの名所として知られており、展望台からは伊万里湾と伊万里市街地の素晴らしい景色を眺望することができます。
- ほかにツルの飛来地である長浜干拓地や歴史と神秘的な美しさを持つ明星桜、浦ノ崎駅の桜並木など、心を和ませる豊かな自然に恵まれています。

#### 2) 人口動向

- 西部地域の人口は減少を続けており、今後も全市の減り方に比べ大きく減少する見通しとなっています。
- 高齢化は、全市の水準より高い傾向にあり、2050（令和32）年には高齢化率が4割を超える見通しです。

▼西部地域の人口推移および見通し

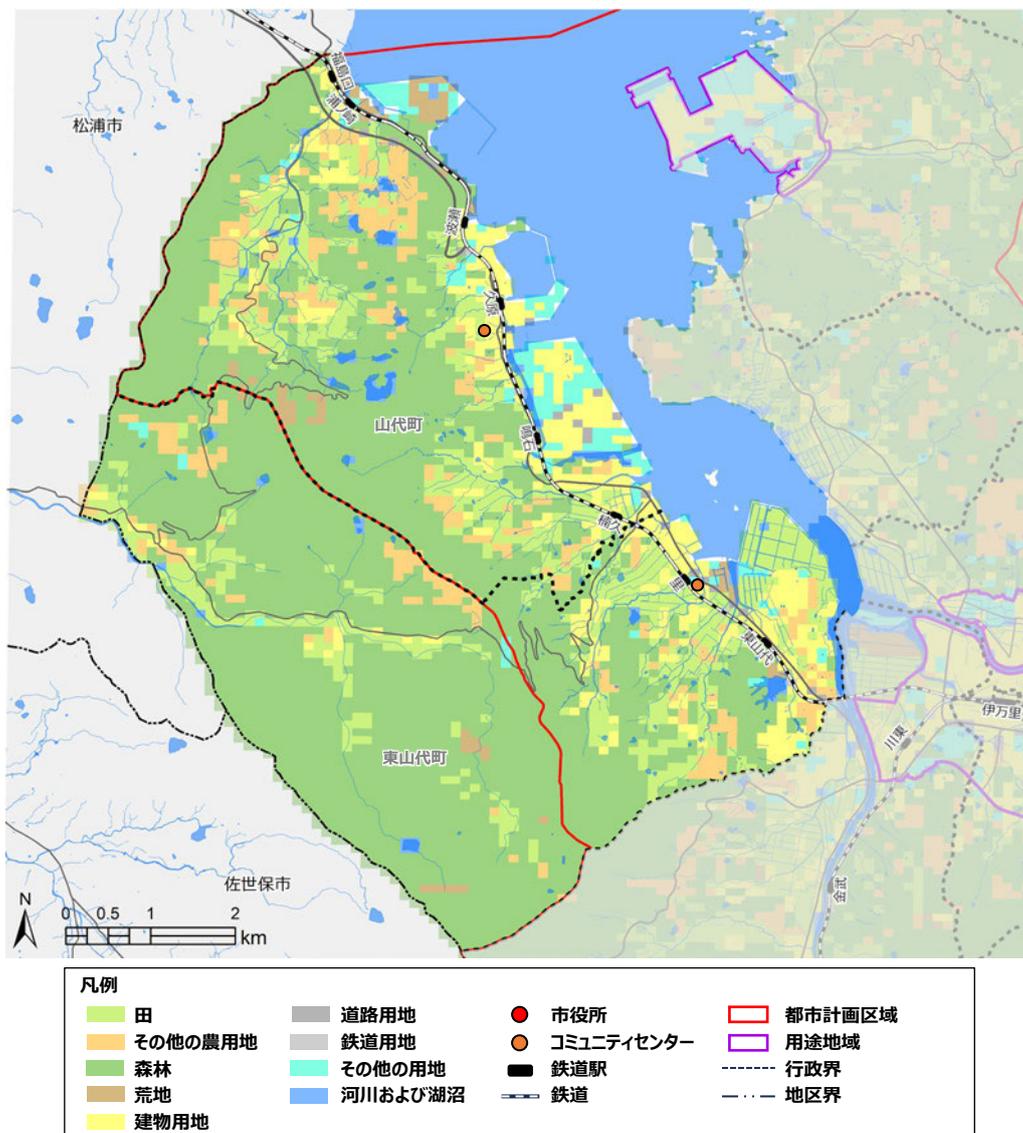


出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（令和5年推計：令和2年国勢調査を基に推計）

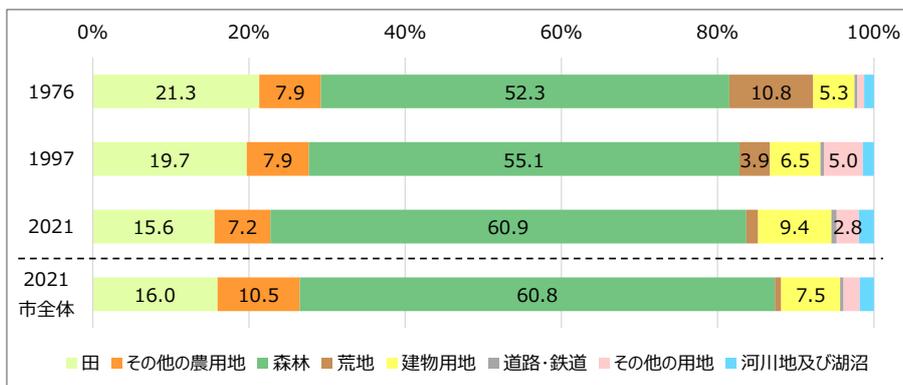
### 3) 土地利用・都市機能等

- 東山代町の東部および山代町は、都市計画区域に指定されており伊万里湾と併走する国道 204 号線沿道や松浦鉄道の駅周辺に集落が形成されています。
- 伊万里湾岸の久原工業団地や伊万里団地、長浜の工業団地などの主要な工業地域が広がっています。

▼西部地域の土地利用（2021 年）および主要施設



▼西部地域の土地利用構成



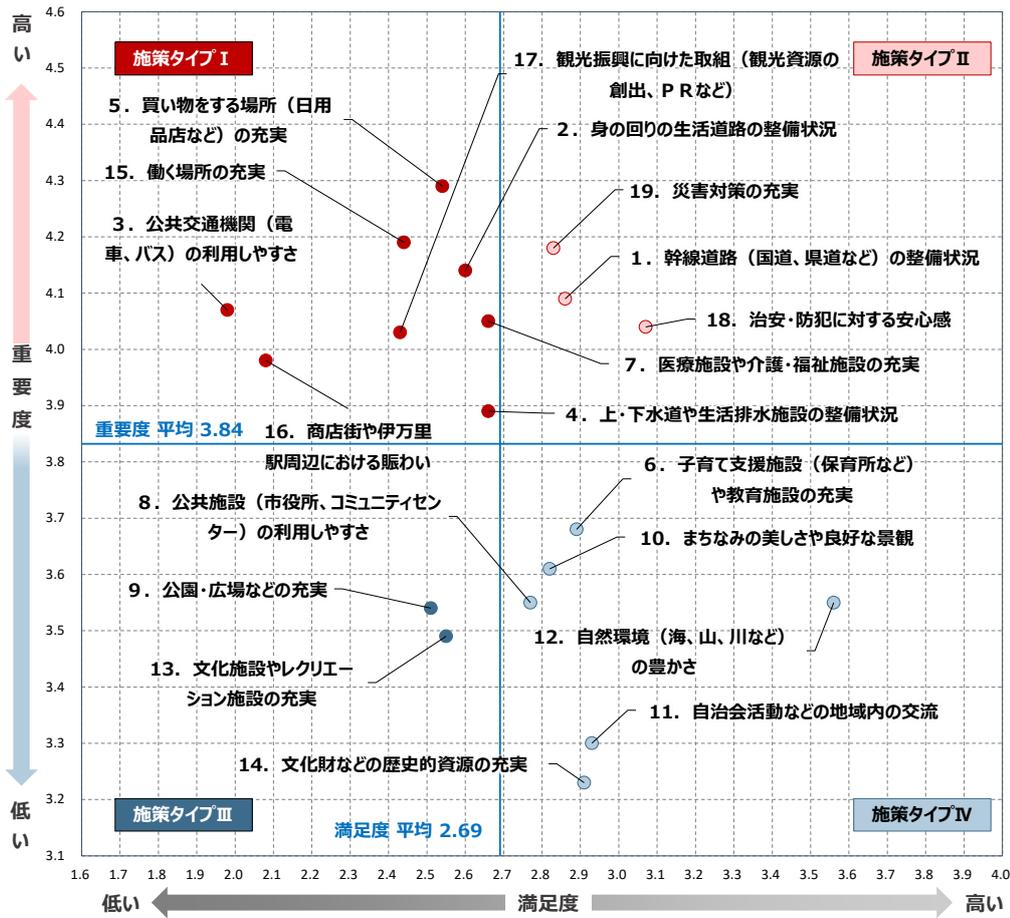
資料：国土数値情報

#### 4) 市民意向

- 西部地域においては、施策全体の重要度は市平均（3.76）よりも高く、満足度は市平均※（2.75）よりも低い結果となっています。
- 施策の重要度・満足度ともに高い【施策タイプⅡ】には、「治安・防犯に対する安心感」、「幹線道路の整備状況」、など3項目が該当しています。
- 施策の重要度が高いものの、満足度が低い【施策タイプⅠ】には、「公共交通機関の利用しやすさ」や「商店街や伊万里駅周辺における賑わい」など8項目が該当しています。

※ p.13 掲載の「本市のまちづくりに対する『重要度』と『満足度』」を参照。

▼本市のまちづくりに対する西部地域にお住まいの方々の評価（市民アンケートより）



■施策タイプについて

タイプ	重要度	満足度
施策タイプⅠ 優先した改善を要する施策	高	低
施策タイプⅡ 現状の水準を維持する施策	高	高
施策タイプⅢ 現状維持またはあり方について検討を要する施策	低	低
施策タイプⅣ 改善の緊急性が低い施策	低	高

## 5) 地域の魅力（まちづくりワークショップ意見抜粋）

- 玄海国立公園（竹の古場公園など）の豊かな自然環境
- 高台から見る伊万里湾の眺望
- 豊かな農畜産物（穀類、果樹、野菜、肥育牛等）
- 製造業等の拠点となっている工業団地
- 里小路のまちなみ
- フォトスポットになっている浦ノ崎駅の桜並木
- 明星桜、青幡神社の大楠
- 子どもたちから人気のある楠久津公園
- いのぴかプロジェクト（※川内野地区の地域活性化プロジェクト）
- 佐代姫伝説

等

## (2) 地域の課題

土地 利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 買い物や医療、子育てなど日常生活を支援する地域拠点の生活利便性の向上が求められています。</li> <li>■ 西九州自動車道の延伸・供用を享受する交流機能の維持・向上や広域的な交通・流通利便性を活かした土地利用の促進が求められます。</li> <li>■ 伊万里湾沿岸の国道および松浦鉄道沿いに市街地が連担しており、都市機能の充実やコミュニティ施設の活用など集落地の住環境整備を行う必要があります。</li> <li>■ 南部の都市計画区域外は集落地が広く点在していることから、生活道路の改善や公園・緑地の配置、適正な下水処理など多様な手法を用いた住環境維持が求められます。</li> </ul>
都市 施設 整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市の中心部や中央地域の都市機能への交通利便性を高めるため、公共交通を維持・強化する必要があります。</li> <li>■ 身近な市民の憩いの場所として、快適かつ安全に利用できる公園・緑地の配置ならびに適正な管理・活用を行う必要があります。</li> <li>■ 九州一の商都・福岡方面へ向けた広域的な流通基盤となる西九州自動車道の全線開通に向けた整備の促進が必要です。</li> </ul>
自然 環境 ・ 景観 形成 ・ 安全 安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国見連山の山並みは、貴重な景観資源として保全・活用を図る必要があります。</li> <li>■ 河川沿いや丘陵地の農地は、身近な田園風景として保全と活用が求められます。</li> <li>■ 自主的に管理された生垣の通り景観や伊万里湾の眺望が美しい里地区の本市の歴史・文化を象徴する美しい良好な景観を保全・育成していく必要があります。</li> <li>■ 浦ノ崎駅の桜並木、ツルの飛来地である長浜干拓地や歴史と神秘的な美しさを持つ明星桜などの景観の保全および観光活用が求められます。</li> <li>■ 伊万里湾沿岸の高潮や津波の被害想定を踏まえ、防災対策の充実を図る必要があります。</li> <li>■ 山麓の集落地周辺に土砂災害特別警戒区域が多く、集落地周辺での土砂災害防止対策が求められています。</li> </ul>

(3) まちづくりの方針

1) 目指すべき地域の姿

本地域では、生活拠点における身近な都市機能の集積を図るとともに、伊万里港を中心とした産業拠点の強化を進めることで、本市の産業発展を牽引するまちを目指します。

また、玄海国定公園に代表される豊かな自然環境や特色のある地域資源を活かしたまちづくりを進め、人と自然がいまいきと輝くまちを目指します。

2) 西部地域の整備方針

土地利用	身近な生活拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山代、東山代のコミュニティセンター周辺において、身近な商業、医療、文化・交流などの都市機能が集積し、公共交通によるアクセスが可能な生活拠点の形成を図ります。</li> </ul>
	活力あふれる産業拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 伊万里団地や今後の活用が見込まれる伊万里港浦ノ崎地区では、北部九州における国際物流拠点として、生産性の向上と地域経済の活性化に資する産業立地の集積を促進します。</li> <li>■ 工業団地近傍に位置する西九州自動車道伊万里西IC（仮称）、楠久 IC（仮称）、山代久原 IC の周辺では、流通・交通機能の向上に資する施設等の整備を促進します。</li> </ul>
	スポーツ・レクリエーション拠点の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 伊万里湾大橋球技場については、地域住民のスポーツ振興・健康増進に寄与する拠点として適切に維持し、必要に応じて利用環境の更なる向上を図ります。</li> </ul>
	優良な農地の保全と集落地の維持・活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 優良な農地の保全・活用に努めつつ、人口減少が進行する既存の集落地については地域コミュニティの維持・活性化を図ります。</li> </ul>
都市施設整備	西九州自動車道の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域交通体系の軸となる西九州自動車道の整備促進に向けた取組を進めます。</li> <li>■ 楠久 IC（仮称）へのアクセスや工業団地への物流効率化を図るため、主要地方道伊万里松浦線の整備促進に向けた取組を進めます。</li> </ul>
	公共交通ネットワークの維持・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ MR の各鉄道駅は、周辺地域における役割を検証しながら、必要に応じて交通結節点としての機能充実を促進します。</li> <li>■ いまりんバス、元気バスについては、地域のニーズを柔軟に捉えた持続的な運行を維持できるよう、利用促進に取り組みます。</li> </ul>
	公園の計画的な改修・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域内に点在する都市公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等の施設の改修や機能更新を図るとともに、適切な維持管理に努めます。</li> </ul>

自然環境・景観形成・安全安心	豊かな自然環境の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 玄海国定公園の貴重な自然環境の保全を図るとともに、竹の古場公園からの眺望景観の保全・形成に努めます。</li> </ul>
	地域固有の景観を活かしたまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 里地区の「里小路の矢竹生垣通り」において、伊万里市景観計画に基づく景観の保全・形成を進めます。</li> <li>■ 浦ノ崎駅の桜並木は、本市を代表する美しい景観として、保全・活用を図ります。</li> <li>■ つなぐ棚田遺産に認定された「川内野棚田」では、国や県の補助のもと営農環境の維持に向けた支援に努め、優れた棚田景観の保全・形成を図ります。</li> </ul>
	防災・減災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住宅団地などの大規模盛土造成地において、安全性把握のための調査結果に基づき、宅地の被害を軽減させるための取組を進めます。</li> <li>■ 楠久津地区では、浸水対策施設の維持・整備など、関係機関と連携した治水対策を推進します。</li> </ul>
	港湾機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 重要港湾である伊万里港において、耐震強化岸壁の整備、輸送経路となる臨港道路の液状化対策の整備に向けた取組を進め、港湾施設の強化を図ります。</li> </ul>

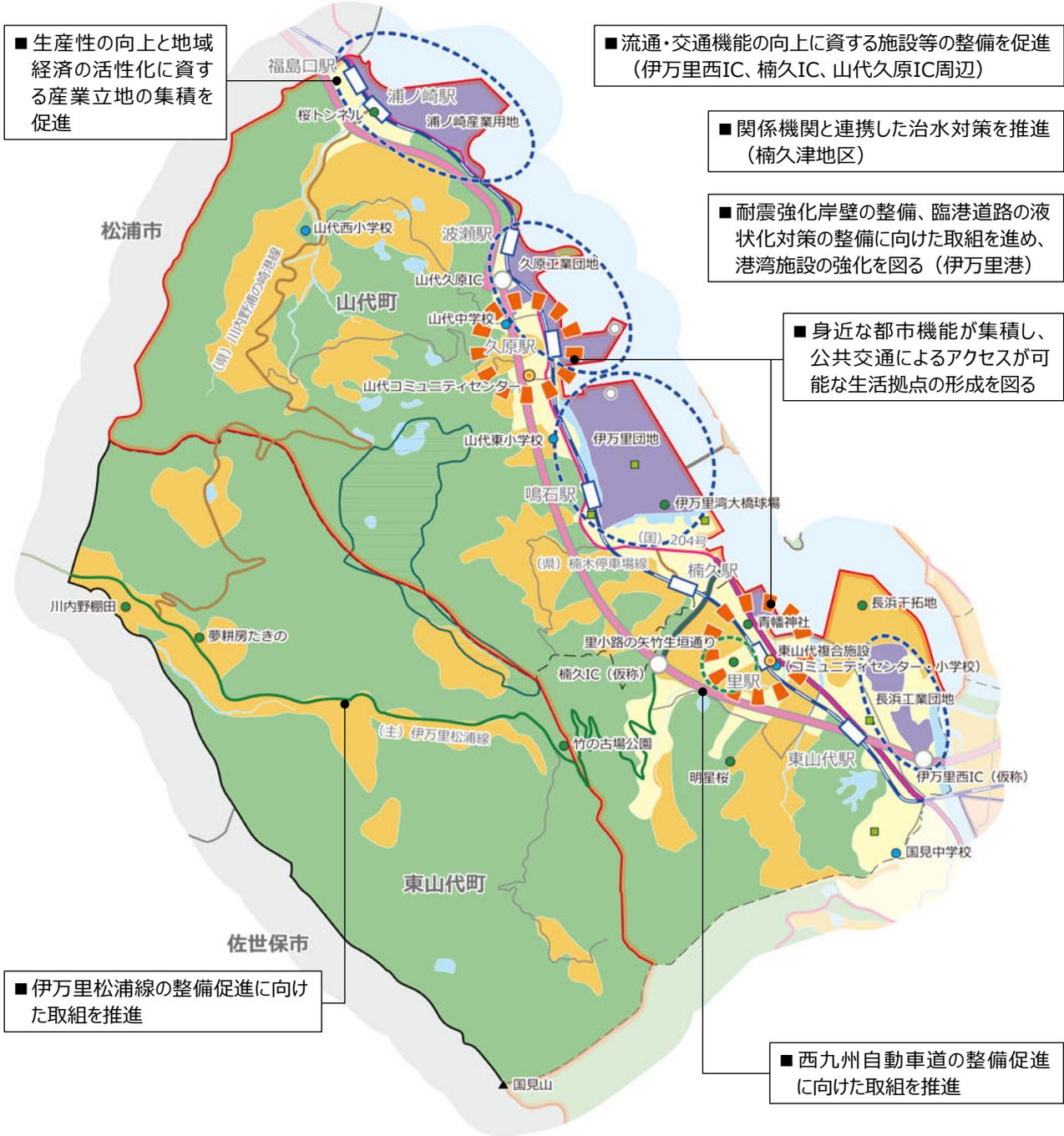
▼MR 浦ノ崎駅の桜トンネル



▼東山代コミュニティセンター



3) 西部地域の整備方針図



土地 利用 の 区 分	郊外住宅エリア	山林・丘陵地エリア	拠 点	生活拠点	産業拠点
	農住共存エリア	工業団地エリア		景観・観光・交流拠点	周遊・物流起点
凡 例 そ の 他	広域連携軸 (西九州自動車道)	地区間交通軸 (主要地方道)	河川・水辺	主要な山地	コミュニティセンター
	都市間交通軸 (MR)	地区間交通軸 (一般県道)	玄海国立公園	都市計画区域	学校 (小・中・高)
	都市間交通軸 (国道)	地域生活軸 (一級市道)	行政界	地区界	都市公園
		都市計画道路	地域資源等		